



学校、家庭、そして地域の方々と一緒に・・・

めぐり

～宇和津小学校地域だより～

宇和島市立宇和津小学校

2025年 7月17日 発行

令和 7年度 第 4 号

文責：地域学校協働活動推進員

早い梅雨明けとなりました。学校でも熱中症に気を付けながら活動しています。地域の皆さまも体調にお気を付けください。いよいよ夏休みが始まります。児童は自転車の乗り方や交通マナーについて学びましたが、御家庭内での安全確認や地域での見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

平和学習(6年生) 地域に学ぶ

地域の方々にお越しいただき、戦時中の貴重な体験談や平和の大切さについて教えてもらいました。

「平和を守って！戦争を絶対にしないで！」

宇和島空襲でほとんどが焼けた

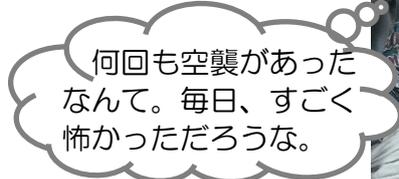


ワークショップでは、空襲のあった日付ごとに焼かれた場所を色鉛筆で塗り潰していきました。旧市内の大部分が塗られてしまいました。和霊公園には宇和島空襲の犠牲者を追悼する平和記念碑があります。

児童はここ宇和島でも戦争の恐怖があったことに驚いていました。戦争をより身近に感じ、伝承と平和の尊さを知ることができました。また、地域の方々も、児童と和やかに交流できたことを大変喜んでくださいました。

校区にお住いの黒田さん、金田さん、国村さん（宇和島空襲を記録する会）が、戦時中の体験談とともに平和への思いを伝えてくださいました。「生き残った私たちにできることは伝えること。」毎年、宇和津小学校に来てくださっています。

体験された宇和島空襲の恐怖や悲惨な様子を聞いたり、竹やり訓練の実演をしたりしました。また、当時の千人針や軍服等の貴重な品々を見せていただきました。



何回も空襲があったなんて。毎日、すごく怖かったらうな。

戦時中では、竹やりを体育で習ったのよ。



東京大空襲や戦時中の暮らしについての講話



読み聞かせて長年お世話になっている地域の方に、東京大空襲や戦時中の暮らしや平和の大切さについて、貴重な資料とともに教えていただきました。

お母様から聞いた東京大空襲の経験談、戦時中の生活の様子や残された配給切符、新聞や電話代の領収書などを紹介してくださいました。



東京大空襲で多くの方が亡くなったのは「避難するな！叩いて消せ！」と教え込まれていたから。空襲で辺り一面が焼け野原となり、遙か遠くまで見渡せたそうです。

「小学生の頃には、19歳のときには・・・」と、物心付いた頃から青春時代まで、戦争に勝つための教育と生活に染められていたことを知りました。今の平和が当たり前のもではなく、自分たちで守っていかなくてはならないことを実感しました。

本物の配給切符だ！どうやって利用したのかな。



衣料と食料の配給切符には「足袋（たび）・晒（さらし）」などがあり、点数制でした。物資不足で品物がなく、結局、切符を使い切れずここに残っているそうです。

【裏面あり】

ありがとうメッセージ

児童から地域の皆様へのありがとうメッセージです。公民館や小学校に順次、
掲示していきます。児童たちの感謝の気持ちが皆様に届きますように。



先日、^{くつじやんへ}町たんけんへ行かせて
 いただきました。町たんけんでは、宇和津彦神の
 名前などをおしえていただきました。
 ありがとうございます。



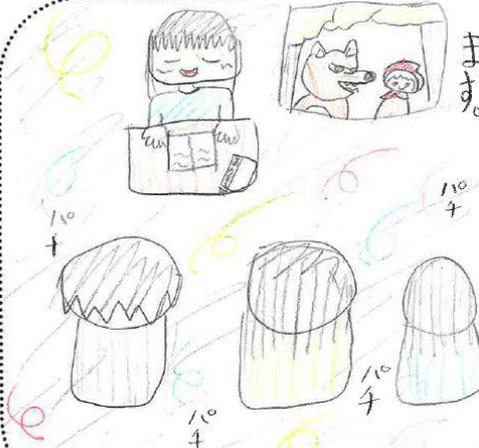
町たんけんの人、町たんけんにつれていきありがとうございます。また、いけば行きたいです。この前はありがとうございました。泊ましかったです。



プリマキムへ
 いつも見守ってく
 れて、ありがとうございます。



プリマキムいつもあつ
 や見守りをしてくださ
 てありがとうございます。こ
 ます。これからあつ
 がへばります。



よみきかせのみなさんへ、
 毎週水曜日によみきかせを
 してください。ありがとうございます。



子どもくどうで、カレー
 カレーを使ってくれてありが
 とうございます。カレーも
 がんばってください。